

令和元年度 第1回 技術部会

C3部会 令和元年8月4日(日)

全国高等学校体育連盟体操専門部

====審議事項=====

1 令和元年度以降の個人手具の確認

	全国高校総体			全国高校選抜				
	手 具		開催地	手 具				開催地
令和元年度	スティック	リング	鹿児島	スティック	リング	ロープ	クラブ	兵庫
令和2年度	リング	ロープ	群馬	スティック	リング	ロープ	クラブ	北海道
令和3年度	ロープ	クラブ	新潟	スティック	リング	ロープ	クラブ	南九州
令和4年度	クラブ	スティック	高松	スティック	リング	ロープ	クラブ	中日本

- 2 令和 元年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について
- 3 令和 元年度 全国高校総体（鹿児島）の実施要項について
- 4 令和 2年度 全国高校総体（群馬）の実施要項について
- 5 令和 元年度 全国高校選抜（兵庫）の実施要項について
- 6 令和 2年度 全国高校選抜（北海道）の実施要項について
- 7 その他

====審議結果=====

1 令和 元年度以降の個人手具の確認

・特記なし

2 令和 元年度 競技規則・採点規則の全国高校適用について

・全国高体連体操専門部要覧にタイブレイクについての記載が漏れている
 新体操競技規則56ページ 1-(4)の記載事項を載せる

(4)同点順位の決定方法について

ア 団体競技

- ① 構成得点の上位チーム。
- ② 上記の条件が全て同点の場合、主任審判員（構成・実施）の合計得点の上位チーム。
- ③ 上記の条件が全て同点の場合、主任審判を除く8名の審判員の合計得点の上位チーム。
- ④ 上記の条件が全て同点の場合、主催団体に一任。

イ 個人競技

- ① 2種目のうち、最高得点を獲得した者。
- ② 上記の条件が全て同点の場合、2種目の主任審判員の合計得点の上位者。
- ③ 上記の条件が全て同点の場合、主任審判を除く8名の審判員の合計得点の上位者。
- ④ 上記の条件が全て同点の場合、主催団体に一任。

3 令和 2年度 全国高校総体（群馬）の実施要項について

・個人班編成について変更を要望。競技レベル向上による安全面の配慮や着替え等の時間も現行の班編成は短いので班の人数を増やして欲しい。

4 令和 3年度 全国高校総体（新潟）の実施要項について

・特記なし

5 令和 元年度 全国高校選抜（兵庫）の実施要項について

- ・（案）の通り

6 令和 2年度 全国高校選抜（北海道）の実施要項について

- ・審判会議を16:30～で審判研修の時間帯を弾力的に運用できるようにお願いしたい。

7 その他

(1) 継続審議事項・要望事項・今後の検討審議事項等

- ・本会場内の審判研修（得点システム）は公式練習にかからないように（確認）
- ・動画撮影について（確認）

(2) 共通理解について

審判技術向上や審判育成のためには審判研修を重ねていくしかない。

(3) 選手の怪我について

高体連としては、教育現場であるので、ただちに審判長・競技部長・監督が演技を中止させる。

協会としては、非常に難しい問題であり、規則にない事案については審判団で協議をして決定していく。（大会に応じて）

(4) 入場減点について

体操協会も検討中である。

(5) 曲減点について

男子はルール変更していないので、今のところ曲のかけ間違いによる退場は認めない。

(6) 各ブロック大会の得点差について

各ブロックで審判研修等を実施してもらっているのでそこを活用してもらいたい。

(7) 団体競技出場者確認の徹底をどうしていくか

選手確認については、招集場所で行っておりモラルにも通じる部分である。

(8) 補欠枠ではなく8名登録できないか

事実上難しい。

(9) 国体への高体連の連携をどのようにしていくか

5人団体になったときにどのような予選を実施していくか。全国総体前にブロック大会を実施することになるので、そのあたりも今後の検討課題である。

(10) 全国高校総体団体競技補充枠について

継続審議。